

「こうべ手話フェスティバル」

8月10日（土）に「こうべ手話フェスティバル」が神戸新聞松方ホールで開かれました。手話スピーチコンテストに、本校高等部1年源桃果さん、2年菊池舞衣さんが、7月の事前審査を経て、本選に参加しました。

5月からスピーチの内容を考えたり、手話表現の工夫や練習などに取り組みました。源さんは「私の過去・現在・将来」、菊池さんは「私のいる場所」というテーマで、自分たちの思いを伝えました。保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々に応援いただき、ありがとうございました。

その結果、高校生以下の部で、1位源さん、3位菊池さんという素晴らしい結果を収めることができました。



8月11日付 神戸新聞朝刊に掲載されました。

神戸 手話の普及を目指す「こうべ手話フェスティバル」が10日、神戸市中央区東川崎町1の神戸新聞松方ホールで開かれた。手話聴覚コンテストでは、神戸聴覚特別支援学校高等部1年の源桃果さん(15)が神戸市垂水区が高校生以下の部で1位に輝いた。

神戸新聞厚生事業団や神戸ろうあ協会などをつくる神戸新聞生協会の主催で、実行委員会が初開催。開会式では神戸市立本山第一小4年の荒井敦史君(9)が、

手話の普及目指し「フェスティバル」

スピーチコンテスト高校生以下の部 **源さん1位**

市東灘区と同市立御影小2年の東夕希菜さん(7)が審査を経て、9人と2クループがこの日の本選に進んだ。源さんは、難聴と診断された小学4年からの歩みを振り返り、「将来は言語聴覚士になり、聞こえない人たちのサポートをしたい」と力強くスピーチした。

関係者は手話を学んでほしいなどと訴え、特別賞に選ばれた。(中島摩子)

ほかの成績は次の通り。(敬称略)

【高校生以下】②荒井敦史、東夕希菜(神戸市東灘区) ③菊池舞衣(尼崎市)

【一般】①大本宏(神戸市灘区) ②岡崎隆吉(西脇市) ③飯山泰行(神戸市北区)

聴覚障害があり、難病を患う会社員の薄井拓也さん(49)が同市灘区は、医療